

燈臺巡回船發注ニ関スル伺

燈臺巡回船英國江注文致シ度ニ付當省定額金ヨ

リ崩ヲ以仕拂度伺

當三月七日乙第九号ヲ以伺済相成居候燈臺巡回船壹艘英國江注文新規製造致候儀間尺船体詳細書ヲ以右代價等同国江問合候処今般別紙并図面之通申来候ニ付至急注文申遣度尤代金之義ハ當省定額ノ内ヲ以成崩ニ仕拂可申候間至急御許可相成度此段相伺候也

六年十二月五日

工部卿伊藤博文

右大臣岩倉具視殿

伺之通

明治六年十二月十五日

(別紙) (イギリス造船所見積)

日本燈臺用鉄造船

一長 二百二十五ヒート

一幅 三十ヒート

一深 三十二ヒート

一頓 数 千一頓

一蒸気機関 ツインスクルフニシテ平常速勢十一マイル尤

一造船方法ハロウイド氏Aノ部類第百号ニ從ヒ製造

一英貨三万三千五百磅

右鉄船製造入費

外ニ

一英貨七千七百七十磅

右船請取日本迄乗廻り入費及附属品買入其外等

合英貨四万六百七十磅

図面無し  
(後筆)

明治六年十二月十二日

財務課長代理

右大臣

参議

工部省燈臺巡廻船一艘英國へ詔方之儀當三月伺済之上同国問合今般別紙図面之船体ニ而代價英貨四万六百七拾磅同省定額金之内ヨリ成崩ヲ以注文致度段別紙之趣者既ニ□前伺ヲ経候末之儀ニ有之御聞届相成可然被存候間御指令按相添供高覧候也

御指令案

伺之通

明治六年十二月十五日